

体験談を聞いて

戦争体験者の方のお話を聞いて、
中学生のみなさんは何を感じて、
どのような考えをもったのでしょうか。

和田治朗さんのお話を聞いて



目の前で人が死んでいくというお話を聞いたり、学校に行かないで工場働いて毎日苦しかったという話を聞いて、もっと学んだり調べたりして、戦争のことについてくわしく知っていきたいです。



今回お話を聞いて、頭の中に状況がうかびました。自分が思っていたこととちがって、改めて怖いと思いました。知らなかったことが聞けて良かったと思います。



戦争があったことをみんなが絶対忘れずに「してはいけないこと」というのを心に置いておくことが大切だと思います。



授業で色々戦争について先生から話を聞いていましたが、全然ちがう部分もあるということがわかって、すごく勉強になりました。



戦後の生活など、教科書とはちがった視点から戦争について知ることができてとても印象に残りました。



毎日朝昼晩とごはんが食べられて、着る服もあって、外も安心して歩けるという当たり前のことに、改めて感謝しないといけないと思いました。

大隈満洲男さんのお話を聞いて

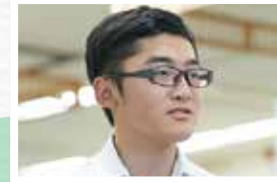


たくさんの人が死んだり、ケガしたりっていうのは聞いていたのですが、食べものがなくなったり、多くの苦労があるということがわかりました。



学校でもきちんと教えてもらっていないことを社会でするといことは、とても苦しいと思いました。今、自分がこうして楽しい中学校生活を送れていることがすごく身にしみて、ありがたいと思いました。

坂上忠さんのお話を聞いて



今回聞いたお話を自分だけにとどめておくのではなく、できることがあればすぐに動いていきたいと思いました。



疎開先にも食べものがなかったことに驚きました。本当のつらさを聞いて良い経験になったと思います。次に生まれてくる子どもたちに伝えていけたらと思います。



和田淳子さんのお話を聞いて



お話を聞く前は戦争は「怖い」というイメージでした。でもそれだけではなく、家もお金も衣服もなくなって、生活が苦しくなる「苦労」も多いと知ることができました。

お話を聞く前は、戦争して人が死んだり、空襲を受けた人たちが迷わくするのになって思っていたが、全ての人に迷わくがかかることに気づかされました。



当時の状況を色々聞いてよかったです。これから身近にいる人にも伝えていって、平和を維持していきたいと思いました。



疎開したり、学校に行っていたり、当時の暮らしを初めて聞きました。戦争に対して見方が変わりました。

吉村公一さんのお話を聞いて



戦争はすごく悲んなことだと思いました。自分の身のまわりから平和にするために、ケンカとか小さいことから消していき、それがつながることを増やしていけたらと思います。



ぼくが小学校3年生で疎開に行くことになったら、たえられないと思います。戦争をなくすために、ケンカしたとしてもじっくり話し合っ解決できるようにしていけばいいと思います。



今回お話を聞いて、語りついでいくことが大切だと思いました。ピースおおさかにある実物などを見ながら、勉強していくことが必要だと感じました。

